

お客様各位

NetIQ(株)Attachmate 事業部

## Reflection for Secure IT Windows サーバ 7.2 SP1 リリースノート

この度 Reflection for Secure IT Windows サーバ 7.2 SP1 を 国内リリースする運びとなりました。  
以下 その内容につきましてご案内申し上げます。

### 記

#### 1. 対象製品

- ・ Reflection for Secure IT (RSIT) Windows サーバ 7.2 SP1

#### 2. 変更内容

- ・ 既存のバージョン 7.2 から、以下の機能追加と不具合対策を実施致しました。

##### 2.1 追加機能

- 1) FIPS モード指定時に、FIPS 認定取得の Microsoft 社生成証明書もサーバ認証用ホスト証明書として使用可能としました。
- 2) 複数グループに属するユーザの SFTP アクセス許可範囲について、所属グループサブコンフィグ指定内容を全て反映できるようになりました。
- 3) SFTP ver4 に対応し、UTF-8 のファイル名称ファイルが転送可能になりました。  
接続相手クライアントの SFTP ver に自動対応(ver3/ver4 の選択)して動作します。
- 4) Smart Copy 機能(=同一ファイル存在時に転送処理をスキップする機能)と Resume 機能(=リトライ時に前回途中まで転送した分の次から再開する機能)の有効/無効の指定が可能となりました。
- 5) NTFS アクセス許可指定内容を SFTP のディレクトリブラウザ動作に反映するようにしました。
- 6) ボタン操作で(最後の)デバッグログを容易に表示可能としました。
- 7) 複数の PKI Services Manager と連携し、高可用性 PKI 環境を可能としました。
- 8) PKI Services Manager ver1.2 と連携し、PKI Services Manager 認証用の公開鍵の確認と保存がボタン操作で容易になりました。
- 9) ssh-certtool コマンドに -f オプション(FIPS モード指定)を追加し、PKCS#10 生成時に FIPS 規定準拠のライブラリのみ要求するようにしました。

##### 2.2 不具合対策内容

- 1) RSIT UNIX クライアントから scp -p オプション指定でファイルを get した時に、保持タイムスタンプが 9 時間ずれてしまう問題 [ver7.2 のみ発生]
- 2) "SFTP accessible directories" の "Physical directory" 設定において UNC パス記述形式の最後に "¥" を付けた場合にエラー扱いとしていた問題
- 3) 各 Subconfiguration の [SFTP Directories] 設定において、"Inherit directories" のチェックを外し個別指定した時に、"User login directory" 欄の内容が正しく xml ファイルに保存されず、設定画面を再表示する時にエラーとなる問題
- 4) ある条件下で同時接続ファイル転送を繰り返していると、低頻度で "EXCEPTION\_ACCESS\_VIOLATION" メッセージを表示しファイル転送が失敗する問題
- 5) "Use SFTP accessible directory settings for SCP1" を有効化し、scp1 によりファイル put 時に、"Permission denied in virtual root directory" メッセージを表示する問題
- 6) クライアント側表示画面の列数が 130 以上の場合に、画面クリア指示で正しく全画面がクリアされない問題

- 7) "Terminal provider"に標準の"cmd.exe"とは別なプログラムを指定し、クライアント側からログインユーザとは別なユーザに関与するリモートコマンドを発行した際に、エラーメッセージ"cmd.exe - Application Error"を表示し終了する問題
- 8) authorization ファイル内追加コメント行にスペースが含まれない場合に接続が失敗する問題
- 9) sftp 多重接続時に、無視すべき影響のない事象を"警告"扱いでイベントログに記録する問題
- 10) xml 設定ファイルに、余分な(=GUI 設定画面に無く、近年のネット環境ではパラメータ変更の必要もない)記述が存在した問題
- R01** 11) 接続開始直後のサーバ内共通鍵生成処理において、演算 hash 値を共有バッファメモリにストアするため、複数クライアントからの多重接続競合時に誤った値をクライアントへ送付し、結果クライアント側において『key\_verify failed for server\_host\_key』のメッセージを出力し接続が失敗する問題

### 2.3 セキュリティ対策内容

- 1) "リモートでコードが実行される Microsoft Foundation Classes (MFC) ライブラリの脆弱性" [CVE-2010-3190] を含む製品開発環境を対策しました。
- 2) ssh-certtool コマンドにより PKCS#10 証明書署名要求を生成する際に、[CVE-2009-2408]指摘の攻撃手法に悪用されないように、PKCS#10 証明書署名要求の項目欄から NULL 文字を削除しました。

### 3. 入手方法

[A] ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様：

- ・弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし該当製品を入手します。

<手順>

- 1) 弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにアクセス
  - i) 直接 URL (<https://download.attachmate.jp/Login.aspx>) を入力 あるいは、
  - ii) Attachmate 日本語ホームページ (<http://www.attachmate.jp/>) から  
    > [サポート] > [ダウンロードライブラリ] とブラウザ
- 2) 「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」ページから、お手元控えの"ユーザ名"、"パスワード"を使いログイン
- 3) 表示「保守の内容」ページ内において、本製品の"ダウンロード"をクリック
- 4) 表示「Reflection for Secure IT Windows Server」一覧から"ファイル名"をクリックし入手  
～ Service Pack or Patch 欄(Current Product Release 欄の下)が今回リリースの 7.2 SP1 です。  
バージョン欄で 7.2+SP1(7.2.1.736)であることを確認し、32bit OS用(x86)、64bit OS用(x86\_64)のいずれかのファイルを選択クリックし、次ページに進みます。
- 5) 表示「ファイル情報とダウンロード」内容を確認しダウンロードの操作を実施  
～ 下部枠内の"輸出規制を含むソフトウェアライセンス使用許諾契約に合意します"をチェックし、  
"ダウンロード:" ファイルをクリックしてダウンロードを開始します。

以上